

臨床研究へのご協力をお願い

東京医科大学病院皮膚科では、下記の臨床研究を東京医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、学長の承認のもと実施いたしますので、研究の趣旨をご理解いただきご協力をお願いいたします。

この研究の実施にあたっては患者さんの新たな負担(費用や検査など)は一切ありません。また個人が特定されることのないように患者さんのプライバシーの保護には最善を尽くします。

この研究の計画や研究の方法について詳しくお知りになりたい場合や、この研究に検体やカルテ情報を利用することを了解いただけない場合などは、下記の「問い合わせ先」へご連絡ください。ご連絡がない場合には、ご同意をいただいたものとして研究を実施させていただきます。

[研究課題名]

円形脱毛症における dupilumab の効果の調査

[研究の背景と目的]

円形脱毛症は最も頻度の高い？脱毛症です。長期間にわたる脱毛により、患者さんの生活の質が低下しますが、有効な治療法がありません。アトピー性皮膚炎に有効な dupilumab という薬剤が重症の円形脱毛症に効果がある可能性があります。

診療録から情報を抽出し、患者さんの脱毛症の状態、アトピー性皮膚炎の合併、罹病期間、治療歴を調査することで、新たな円形脱毛症の治療法の確立に貢献できると考えています。

[研究の方法]

●対象となる方

2018年1月1日から2019年6月30日までに東京医科大学病院皮膚科で dupilumab (デュピクセント)を投与された患者さんの方 10人を対象にします。

●研究期間

2019年10月24日から 2019年12月31日

●利用する検体やカルテ情報

当科で dupilumab を投与された方

性別、生年、年齢、初診年月、人種、初発年齢、患者さんの脱毛症の状態、アトピー性皮膚炎の合併、罹病期間、治療歴、が含まれます。

●検体や情報の管理

個人情報暗号化され処理し、厳重に秘匿されます。

[当院における研究組織]

研究代表者 皮膚科 准教授 原田 和俊

研究分担者 皮膚科 院内講師 入澤 亮吉

皮膚科 講師 伊藤 友章

皮膚科 助教 内山 真樹

皮膚科 臨床研究医 福士 瑠璃

[個人情報の取扱い]

- ・個人情報は匿名化したうえで検討、解析する匿名化の方法については、情報から個人を識別できる情報(氏名、住所、生年月日、電話番号など)を削除し独自の符号を付し、どの研究対象者の試料・情報であるか直ちに判別できないよう加工したうえで作業を行います。個人と符号の対応表は個人情報管理責任者が保管します。
- ・情報の管理責任者は研究代表者です。

[問い合わせ先]

東京医科大学病院 皮膚科 准教授 原田和俊

東京都新宿区西新宿 6-7-1

電話:03-3342-6111 外来内線:2621 医局内線:5824